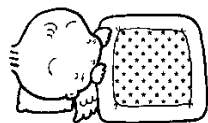


子育て支援情報紙

えんぜる

第290号



令和4年 7月 1日
足寄町教育委員会
TEL 0156-25-3188

足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp)

7月

子育て支援カレンダー

紙 面

二面……保護者の目線で情報「転入された方へ ようこそ足寄町へ」
 三面……子育てエッセイ・休憩室・英語で子育て
 四面……お勧めの本『コミュニケーション』・『おさんぽのおやくん』
 ・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5 えんぜる編集会議 11:00~ 町民センター:会議室1	6 おはなしタンポポ 11:00~11:30 対象:3歳未満	7	8	9
10	11	12	13 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	14	15	16
17	18 海の日	19	↑ 20 ひよこクラブ	21 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター 会議室1・2	22	23 絵本の会 はらっば 11:00~11:30 対象:小学生低以下
24	25	26 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	27	28	29	30
31	つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週:月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は:TEL25-4415まで ひよこクラブ ⇒ 詳細はつどいの広場に掲示してあるポスターをご覧ください。問い合わせは:TEL25-4415まで 足寄動物化石博物館 ⇒ 詳細は TEL25-9100まで					

☆子育て支援事業担当者からお知らせ☆

◇ 子育て支援・学習と交流の会「すくすく」では、育児に関する悩みの解消を図ることを目的として実施しています。講話や実習のほか参加者同士による子育て中の悩みの交流も子育て先輩と一緒にを行っています。また、7月の講座は「アロマテラピー講座」を行いますので、是非ご参加ください。

※会員以外の参加希望の方は、足寄町教育委員会生涯学習担当の加藤・青木までご連絡ください。TEL:25-3188

転入された方へ

ようこそ足寄町へ

転入された子育て中のお母さん・お父さんへの情報として

4月号に掲載した「子育て支援センター情報」を再度掲載いたします。

① 子育て支援センター「つどいの広場」

子ども連れでゆっくりとくつろぎながら、玩具遊び、子育ての情報交換や交流ができます。

*利用日時：月・火・木・金 9時30分～11時30分

*設備：ベビーベッド、おむつ交換台、授乳コーナー、多目的トイレ完備

*場所：子育て支援センター入口よりお入りください（こども園グラウンド側）

*お問い合わせ先：子育て支援センター TEL 25-4415

② 児童館あしよべーる「つどいの広場」

児童館「あしよべーる」は0歳から体を使った遊びができる施設です。

*利用日時：月～金 10時00分～11時50分

*対象年齢：就学前のお子さんとその保護者

*お問い合わせ先：あしよべーる TEL 25-7575

※ 新型コロナウイルス感染状況により、お休みする場合があります。町のHPをご確認ください。

③ 子育て支援センター「一時保育」

短時間の仕事や私用・急病・看護・社会活動等の理由により、一時的に家庭保育が困難になった場合、お子さんをお預かりします。

*対象年齢：1歳（離乳完了）から就学前まで

*利用日時：月～金の週3日まで。月12日以内 9時～17時

*利用料金：1歳児・2歳児 1時間400円、3歳児 1時間300円

*利用手続き：利用日の3日前までに予約の上、申請書を提出願います。

*お問い合わせ・予約先：子育て支援センター TEL 25-4415（9:00～17:00 受付）

④ 児童発達支援センター あゆみ園

発達に支援が必要なお子さんに対して、それぞれのお子さんの発達段階に合わせた個別的な働きかけを行い、また、親御さんに対する相談支援を実施しています。

*お問い合わせ先：児童発達支援センター TEL 25-4415

⑤ 地域交流施設「むすびれっじ」（足寄町世代間交流事業）

高齢者等複合施設「むすびれっじ」を、土日の“室内遊び場”として開放しています。施設内のカラオケルームや調理施設もご利用いただけます。

*利用日時：土・日 10時00分～15時00分

*ゴミはお持ち帰りください。施設の利用マナーを守りご利用ください。

*お問い合わせ先：あしよろ子どもセンター TEL 25-2574（平日：9:00～17:00）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止期間等は、お休みします。

☆子育てエッセイ☆

人とのつながりの大切さ①

ご近所付き合いが減っていると耳にするこの頃ですが、私はできるだけ関わりをもつように心がけています。本当にピッチの時に助けあえるのは「遠くの親戚より近くの他人」の言葉通り、ご近所さんだと実感しているからです。

雷雨の日に、当時小二の息子が一人で家において不安になり、近所のお家に駆け込んでお世話になっていたことがありました。そんな急な場面でも、嫌な顔をせず「怖かったね。またおいでね!」と言ってもらえて、親子共々とても心強くなりました。私りがたいと感じたことがありました。私も「ごめんなさい、すみません!」の代わりに「ありがとうございます。」を伝えるようにしています。

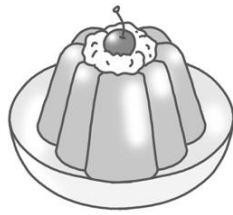
実家が遠く、頼れる先がない私にとって、地域の方々のあたたかさに触れるたび、嬉しくてこの土地が大好きになっていきます。そして、今度は私のできることで何かの助けになれば嬉しいと思っています♪

休憩室

子どもが勝手に作っちゃった! 簡単過ぎるカルピスゼリー //

【材料】

- シリコンカップ(7cm程度)5個分
- ゼラチン 5g
 - 熱湯 50ml
 - カルピス 50ml
 - 水 100ml
 - 好きなトッピング 少々



【作り方】

- ①80℃以上の熱湯にゼラチンを溶かす。
- ②カルピスと水を加える。
- ③シリコンカップに等分に注ぐ。
- ④粗熱が取れて表面が固くなってきたら、好きなトッピングを静かに乗せる。
- ⑤冷蔵庫で1時間ぐらい冷やす。

※100円ショップでお気に入りのシリコンカップを見つけてね♪

※カルピスみかん味+缶詰めみかん、カルピスぶどう味+粒ぶどうなどアレンジしてみてください!

※③の工程でカップの底にラムネやグミを入れて、食べる時にカップをひっくり返したらカラフルで可愛いですよ。

英語で子育て

子連れでレストランに出かけると、お料理からネギを抜いてもらいたいとか、お寿司をさび抜きにして欲しい時がありますよね。

「〇〇抜きで。」と注文するときは、シンプルに “Without 〇〇, please.” で通じそうです。

ウイズアウト
Without

ワサビ
wasabi,

スプリング オニオン
spring onions,

マスタード
mustard,



プリーズ
please.

我が家の子どもたちは、紅ショウガ (red pickled ginger)

レッド ピックルド ジンジャー



が苦手です…。

私の見つけたお勧めの『本』

『ジュマンジ』

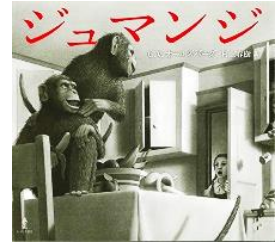
作：クリス・ヴァン・オールズバーグ 訳：村上春樹 出版社：あすなろ書房

ジュマンジ…それは、退屈してじっとしていられない子どもたちのための、世にも奇妙なボードゲーム。何も知らずに、軽い気持ちでゲームを手にとった姉弟の運命は……？

1995年に映画化された「ジュマンジ」の原作絵本。1981年初版の絵本を2019年、村上春樹翻訳で復刊。

先日、寝る前の読み聞かせで、子どもが選んだこの絵本。文字が多くて大変だな～と思って読み始めたら……部屋の電気を薄暗くしたシチュエーションも相まってか、頭の中で大冒険が始まりました!!挿し絵も効果的ですが、なにより文章に引き込まれ、想像の世界へ!!

映像が発達した現代。情報も物も溢れた現代。子どもの本来もつ『自由な感性』というものは育ちにくい環境なのではないでしょうか。親子共々この本を読んで、久しぶりに『想像力』という脳トレtimeとなりました☆



『おさんぽのおやくそくだもの』

作：きだに やすのり 絵：わたなべ あや 出版社：あかね書房

気分転換や運動にもなるお散歩。

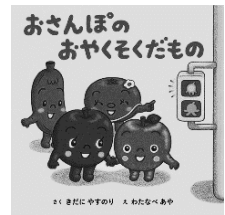
子どもの交通事故のニュースを観るたび、いつも胸を痛めている私がいいます。

好奇心から、動物、乗り物、お友達を見つけると一目散に走りだしたり。

親御さんはヒヤヒヤ、ドキドキする事ありませんか？

お出掛け前に、危険なこと、交通ルールの確かめにお子さんとこの絵本を読んで、楽しみながら読めて、交通安全を理解してもらえる一冊なのかなと思います。

♥楽しいお外遊びのために♪是非お子さんと一緒にどうぞ♥



編集後記

暑さが厳しい季節がやってまいりました。我が家はこの猛暑をどう乗り切るか…が毎年の課題となっています。(笑)

しかし、夏ならではの楽しみもありますよね。水遊び、虫取り、花火、キャンプなども良いですよね!ここ数年、新型コロナウイルスの影響で中止となることが多いお祭りや花火大会…今年には開催されるでしょうか。

足寄町で生まれた子どもたちをお祝いする、両国花火大会の「子ども花火」はとても素敵ですよ!初めて見た時は長男がまだお腹の中にいる時でした。そして次の年、みんなで一緒に花火を見て感激したのを覚えています。主役の長男は花火に驚いて、ずっと手を舐めていたのも今では良き思い出です。(笑)

またみんなでわいわい花火大会を楽しみたいですね。

そんな場面が早く訪れますように…*

(編集委員 M・K)